

# 琉球大学学術リポジトリ

## 米国管理下の南西諸島状況雑件 通貨交換問題( I )米のドル防衛生命と通貨対策

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): 米国のドル防衛, 360円, 外務大臣, 山中大臣, 屋良出席, ランパート高等弁務官, 高瀬他紙, 屋良主席 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43681">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43681</a>

山中大陸・屋良生所合談

(46. 8. 21)

極 秘  
無 期 限  
部 の 内  
号

右  
の  
事  
に  
関  
し  
て  
の  
事  
を  
記  
す

アメリカ局長  
北米才二課長  
参事官  
条約課長  
安全保障課長  
北米才一課長

山中大臣、尾良主席会談

46. 8. 21  
米北1

1. 8月20日 通水秘書官(上) 17. 18日の  
両日に行われた本件会談につき聴取せる  
ところ、要旨次のとおり。

(1) 会談は17、18日の両日合計7時間半に  
亘り、2日行われ、大半は復帰対策を主  
要議題として外務省(通水)部の部分に  
行われたと思ふ。

(2) 尾良主席より、この情勢、用  
て上げの問題に  
つて照会あり、山中大臣は、復  
帰于2ヶ月の

GA-5

外務省

2212

て上げは行われず、1ドル360円の  
レートで交替すると述べた。(たゞ、17日の  
関係協議会に際し、山中大臣は水田  
(上) (沖繩住民の要望あり)  
大臣に対して、沖繩復帰于2ヶ月内の  
て上げは行われたいよう要請したと云ふ。

大臣は回答に窮し2ヶ月、山中大臣の  
声を離れたと云ふ2ヶ月に於て佐藤総理は  
山中大臣に同意を示す如く深くは  
11T(由)  
(この趣旨を山中大臣の主席に於て報告したと云ふ)

(3) 尾良主席より、金港湾の問題につき、  
山中大臣の協力方を要請(具体的要請の  
内容は不明)、山中大臣は11月北外務省  
及び大蔵省と協議したと答へ2ヶ月の  
(外務省に於て何らかの  
近く連絡があると思ふ。

GA-6

外務省

(4) 琉球赤字問題に就き尾良主席より、

本土政府の協力方を要請あり、山中大臣より、  
下地島の飛行場建設の如く、本土並みの  
起債要件を至り、石原生じた赤字は  
本土政府として回収をみかねるべし、

戦後26年間の沖縄が本土から切り離され  
てきたために累積した赤字に就き、  
回収をみる、その場合琉球のみならず、  
市町村に就きても同様の措置をとるべし、  
と回答した。

(5) 毒ガス被害者自主避難費用の本土政府に  
より至りしに就き尾良主席より要請あり、  
山中大臣は、「暖かい態度で」、これに  
回答した。

2. 石原通水秘書官に就き、山中大臣は  
8月21日の午後2時復帰の案を、次官網  
が承認した。同日沖縄に  
赴き、説明等を行なう予定あり、  
滞沖中は北大東島を訪問した。意向  
であること、今の段階で内々米使りに対し、  
レポート高野幹治氏とのアポイントメント  
(米軍用機の提供)  
取付、並びに北大東島への飛行機  
(片道飛行機) 方面に就き、  
石原に就き、  
か、このべ(依頼する所)に就き、  
述べた。 (在沖縄公使館長に  
対して連絡する由)  
追記: 8月21日、通水秘書官より、山中大臣は  
(公務多忙であること)  
9月初めは沖縄の盆にも当分の間、官公休を

シロガネ井原氏より石原通水秘書官に就き、

9月10日頃 1:23期72 = 2767: 8

連絡あり。(S型等の策を次要国への輸出  
提出を遅れたか否かは定かでない)

今と=3. 8月31日 27775< 9月30日  
可能性が不明)